

題名(題に施設名も入れる) 説明部分を消して使いましょう

――― 必要ならレポート題名の副題 (12pt) ―――

兵庫県立神戸高等学校 ○年○組○番 神戸 太郎

ここに、本レポートのアブストラクト(要約)を記述(明朝 10.5pt)するとわかりやすくなります。筑波研究学園都市のレポートについては、手書きで作成しても構いません。書式も自由です。実習でレポートのようなものを作成した場合は、それを提出してもかまいません。

.....
.....
.....
.....

1. 見出し 1 (ゴシック 12pt)

1.1. 見出し 2 (ゴシック 11pt)

本文(明朝 10.5pt)はここから。

レポートは、最も印象に残ったことを中心にまとめてもよい。分量は1~2ページでOK。文体は常体(である調)としてください。

できれば図や表・写真などを入れて、このレポートを見た人が施設の内容や特徴を理解し、興味を抱きやすいレポートになることを目指しましょう。わかりやすくできた作品は、本人の許諾を得たうえで、文化祭等で展示する場合があります。図や表・写真などを使う場合は、次のことを心掛けましょう。

- ・ 本文を補佐する内容であること
- ・ 施設の内容に関わるものであること

図1:○○○ や、表1:・・・の書き方は東大のレポートの実例を参考にしてください。

引用の場合は、引用した範囲が特定できるように「」等でくくること、出展がわかるように参考文献の欄に記載することを忘れないで下さい。引用ではない場合でも、本レポート作成に当たって参考にしたものがあれば、参考文献として挙げてください。

.....
.....
.....
.....

例(下記は項目の構成例です。タイトルなどをそのまま使うのではなく、工夫してください。自由に、自分なりの構成でレポートを作成することが望ましい。)

1. はじめに

.....
.....
.....
.....

2. ○○研究センターの概要

2.1. 設置目的や実習の内容

.....
.....

2.2. 特徴・特色

.....
.....

3. 展示や実習に関する考察

3.1. 驚異の○○装置

----- (特に興味を持った内容・印象に残ったこと。興味を持ったことがタイトルに表現されているとわかりやすい。複数ある場合は、本文の中で箇条書きしてから説明を述べるなどの工夫を。) -----

.....
.....

3.2. 新たに見つけた疑問点・問題点

----- (単数ならタイトルで疑問点が何かを簡潔に表現し、複数なら本文で箇条書き&説明などの工夫を。) -----

.....
.....

4. おわりに

.....
.....
.....

[参考文献・参考 URL]

参照した文献がある場合。

1 から始まる番号に続けて、書籍の場合は、著者名、書名、ページ、出版社、発行年を記述し、Web ページの場合は、Web ページのタイトル、http://から始まる Web ページのアドレス(URL)を記述すること。

例:

[1] 筑波太郎, 学園都市計画考察, pp.48-52, つくば図書出版, 2005